

令和3年度 ACTR

分類 番号	A1	取組 名称	地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究
研究代表者所属・職名：		文学部・准教授	氏名： 上杉 和央
研究担当者：			
京都府立大学：上杉和央（文学部） 鈴木暁子・長田萌・今堀誠弥（京都地域未来創造センター） 外部分担者・協力者：左京区役所地域力推進室：船木康司氏、小巻 拓也氏 吉田泰基氏（京都市まちづくりアドバイザー）京都市文化財保護課：福持 昌之氏 宮下忠也氏（京都府地域アートマネージャー）			
主な連携機関			
京都市左京区役所・文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課・京都府南丹広域振興局			
【研究活動の要約】			
<ul style="list-style-type: none"> 京都市左京区の北部山間地区（久多・花脊/別所・広河原）は、独自の祭礼や行事が発展してきた地域で、伝統行事は地域コミュニティの核として生活と一体となって執り行われています。しかし、人口減少や高齢化、地域の方々の意識の変化、伝統行事に使う原材料の調達の高さから、伝統行事の継続について苦慮される保存会や地域住民の方々の声も聞かれるようになってきました。 そこで、2019年度より、左京区役所と連携して伝統行事と地域コミュニティに関する調査を行ってきましたが、今年度でひとまずの区切りを迎えました。今年度は、2020年度に行ったコロナ禍における「伝統行事に関するアンケート調査」（対象：京都市左京区内の京都市指定・登録文化財（無形民俗文化財）の保存会24件）を参考に、左京区と隣接する南丹市2地区（美山町鶴ヶ岡・芦生）も範囲に加え、より広域な形での聞き取り調査を実施しました。 			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、残念ながら新型コロナウイルスの流行が収まらず、伝統行事そのものを調査することはできませんでした。ただ、それで調査が完全に止まったわけではありません。幸い、コロナの収束した期間もあったので、その間隙を縫いながら、7月から10月にかけて、主に北部山間地域の各伝統行事の保存会・協賛会等の方々（計9件、21名）を対象に、聞き取り調査を実施することができ、現状や率直な思いについて聞くことができました。 参加したメンバーがオンライン上で集まり、課題や伝統行事／コミュニティ維持のためのキーワードになるような点を座談会形式で議論しました。地域づくりと文化財保存・活用の両輪をどのようにつなげるのか、実践面、政策面から、今後に向けての示唆を得ることができました。 			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> 調査内容は、『京都府立大学文化遺産学叢書 23』としてとりまとめ京都府立大学附属図書館に配架予定のほか、一部は京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学叢書ホームページ及び京都府立大学京都地域未来創造センターウェブサイト上に公開予定です。 			
【お問い合わせ先】			
文学部 歴史学科 准教授 上杉 和央 Tel: 075-703-5117 E-mail:kuesugi@kpu.ac.jp 京都地域未来創造センター コーディネーター 鈴木 暁子 Tel: 075-703-5390 E-mail:a-suzuki@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



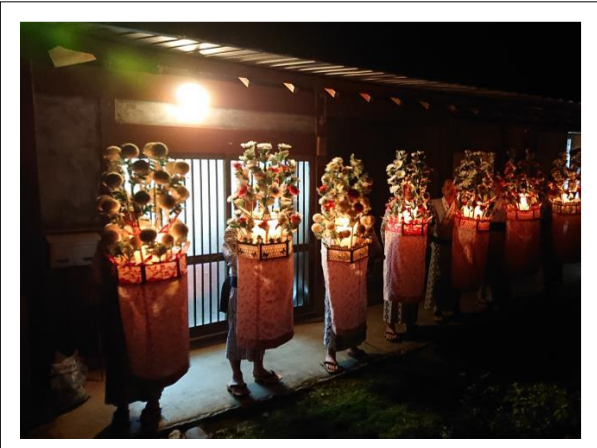
広河原松上げ保存会への聞き取り（8月3日）



芦生ワサビ祭りを行う地域住民への聞き取り（10月26日）



久多宮の町松上げ保存会への聞き取り（7月14日）



久多花笠踊（2019年度 ACTR にて撮影）

聞き取り先一覧（9団体・21名）

報告書の表紙：

『文化財の保存活用と地域コミュニティ』

	伝統行事の名称	保存会の名称
1	久多の花笠踊	久多花笠踊保存会
2	久多宮の町松上げ	久多宮の町松上げ保存会
3	花脊松上げ	花脊松上げ保存会
4	広河原松上げ・広河原ヤッサコサイ	広河原松上げ保存会 広河原ヤッサコサイ保存会
5	松ヶ崎妙法送り火 題目踊／さし踊	公益財団法人松ヶ崎立正会
6	木野愛宕神社の烏帽子着	木野愛宕神社烏帽子着保存会
7	岩倉火祭	石座神社奉賛会
8	諏訪神社大祭	南丹市美山町鶴ヶ岡
9	芦生ワサビ祭り	南丹市美山町芦生

